北区防災シンポジウム

「住民が守り、守られるまちづくり」

武蔵校区第4町内自治会の試み

武蔵校区第4町内自治会長

両 角 光 男

武蔵校区の推計人口(2023年1月1日時点) 3,093世帯 6,636人

高齢化率 西側エリア：32.8%　東側エリア：15.7%

Google 2023

Google 2023

武蔵校区第4町内はどんなところ？

- 築40年超の旧公団賃貸住宅団地
  - ＞緩傾斜の台地の頂上にあり
    リスクは主に火災と大地震
  - ＞高齢化が進み、空き室も増加
  - ＞４年前、団地の北端に
    分譲マンションが 竣工
  - ＞賃貸住宅は３棟を１棟に集約して
    商業再開発が進行

- 性格の異なる２つの隣保
  - ＞高齢者が大半を占める賃貸住宅棟
  - ＞若い世帯が多数ながら、新規転入者が集る分譲マンション棟
- 高層集合住宅の特性もあり
  それぞれ近隣交流が希薄

◎災害時の安否確認や
助け合いに不安が!!

2023年１月時点の町内生活者は推定110世帯260人

武蔵校区における防災まちづくりの取り組み

①各町内に自主防災クラブを編成

②校区自治協議会で熊本地震の
校区震災記録誌刊行（2017年05月）

③校区防災委員会設置（2017年07月）

④校区震災対応訓練実施
（2017年以降2021年を除く毎年実施）

⑤武蔵小学校・武蔵中学校避難所
運営委員会常設　（2021年04月）

・記憶や経験を風化させない
・今後の防災活動に活かす

●校区防災員委員長（2020年当時）との会話

①皆さんに、より身近な問題として防災を考えてもらえる工夫はないだろうか？

②指定避難所は密を避ける必要があるが、収容力は果たして十分だろうか？

武蔵校区4町内自治会で取り組んできたこと

居住者の皆さんに

●防災に関心を持ち、日頃から備えを進めてもらう

●災害時の連絡や共助の体制づくりに参加してもらう

町内自治会で

●災害時に想定される皆さんの避難行動などに関する情報を集める

●災害時の連絡確保や共助の体制を工夫する

①防災アンケートの実施　2020年秋 2021年秋

・アンケート記入を通して、平時の備えや、災害時の避難行動・避難生活について考えてもらう

②「防災あんない」配布　2021年秋 2022年春・秋

・防災に関する基礎的な情報を知ってもらう

・他者の平時の備えや災害時の行動想定を知ってもらう（アンケート結果の紹介）

・災害時の安否確認や連絡、共助の仕組みを知ってもらう

③災害時の連絡システムの試行　2022年夏・秋

・マンションの火災避難訓練や町内一斉清掃の機会に安否確認システムを使用してもらう

①防災アンケートを設計し、回答を分析

・地域の防災関連情報収集

・皆さんが想定する避難行動（分散避難の見通し）

・共助の活動への参加意向

②災害時の連絡や共助の体制を提案

・災害発生直後の安否確認

・避難生活開始後の共助や公助のニーズ把握

・その時点でボランティアに参加できる方の把握

武蔵校区4町内自治会「防災あんない」2021年版

備えあれば憂いなし

Providing is preventing.

武蔵校区 4 町内自治会「防災あんない」2021年版

大きな災害が起きても
被害を最小限に抑え
短時間で日常を取り戻せるよう
皆さん一緒に
日頃の準備をしておきませんか？

1：地震災害の可能性を知っておこう

●熊本市が公表している地震ハザードマップが示す市内各地の揺れ予測図を下に紹介します。私たちは2016年に熊本地震を経験しましたが、同程度の地震が発生する可能性は以前と変わらないというのが専門家の見解のようです。国が作った全国地震動予測地図2020年版では、武蔵校区の場合、30年以内に震度6弱以上（熊本地震程度）の地震に見舞われる確率は 6%から26%となっています。

熊本市内各地の揺れ予測図（凡例はこの頁の下部中央に）

布田川・日奈久断層が動いた場合に想定される地震（M7.2-7.6）による各地の揺れ

2016年の熊本地震は断層北部のズレが原因で発生。残りの区間はズレが起きずに歪が蓄積したままと想定されている。
下の拡大図で赤線の範囲が4町内。
4町内は2016年の熊本地震と同じ震度6弱との予測

立田山断層（約15km）が動いた場合に想定される地震（M6.5）による各地の揺れ

1889年(明治22年)の熊本地震との関係が指摘されているが、詳しいことは不明。
熊本市が2021年度に調査実施中。
黒枠が中段左の拡大図と同じ範囲。
4町内は2016年の熊本地震と同じ震度6弱との予測

上図の黒枠内を拡大した図

震度別の揺れの状況

2：地震が起きた時にはどうする？

大きな地震が起きたら、冷静に対応するのは難しいもの。
しかし、一瞬の判断が生死を分けることもあります。
地震が起きても「あわてず、落ち着いて」行動できるように、
以下の例を参考に、家族の行動を考えておくことをお勧めします。

地震発生

- □ 落ち着いて、自分の身を守る
- □ 火を消そうと無理はしない、沸騰している鍋などからは離れる
- □ ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する

建物が歪んで扉が開かなくなる場合も

- □ 揺れが収まったら在宅家族の安全を確認
- □ スリッパや靴を履き、裸足では歩かない
- □ 火の元を確認、出火していたら初期消火

3分
- □ 屋外や住戸前通路などの安全を目で確認
- □ 余震に注意
- □ 非常持出品を手近に用意する

5分
- □ ラジオ・TVで情報を確認
- □ 外出中の家族と電話連絡（通話は最低限に）

10分
- □ 屋外避難は必ず階段で（団地集会所前に集合）
- □ 出る前には火の元を再チェック（電気のブレーカーを停止し、ガスの元栓を閉める）

団地集会所前が使えない場合は

わが家の 保存版 防災マニュアル

熊　本　市

のは自宅（でがんばる）が３３%で最多でした。建物への信頼感、子ど

知って、気づいて、考えて 自分で作る 防災マイBOOK

「災害に備えようかな」と思ったときに、最初に読んでおきたい本。

防災マイBOOK

災害時、キケンな場所を思いつきますか？

これが北区です。

熊本市北区、2021.2.15

熊本市 北区
ず～っと住みたい“わがまち北区”

熊本市
Kumamoto City
発行日 令和3年2月15日

武蔵校区４町内自治会

地震が起きた時にはどうする？ 改訂2022年

災害時連絡票などは どう使うの？

4町内自治会**災害時連絡票**

3棟・R武蔵 _____**号**
何れかに丸　住戸番号

記入日　_____月_____日

代表者名 _____.

電話番号 ____-____-____.

●**ご家族の皆さんは当面どこで避難生活をされますか？**
（場所毎に人数を記入）

自宅 ・・・・・・・ ____人
自家用車 ・・・・・ ____人
武蔵中の避難所 ・・ ____人
その他 町外など ・・ ____人

※質問や提案は、裏面にご記入下さい

●自宅や自家用車など**町内で避難生活される方の中で、特に配慮が必要な方**は居られますか
例 乳児・妊産婦・未就学児・病弱者・歩行困難者・障がい者・高齢者 など

（**武蔵中避難所滞在者については現地で把握するので、ここでは除きます**）

（該当事由）　（人数）

_____ ____人
_____ ____人
_____ ____人

●**生活必需品が足りないなどの場合**は、その都度「困りごと連絡票」に記入して回収箱にご提出下さい。１枚は同封、追加分は回収箱の横に置きます

●町内における**支援活動に交代で参加**していただけませんか？
（物資の配給、炊き出し、高齢者など移動困難世帯への情報伝達、団地集会所の連絡拠点運営、など）
何れかに○を付けて下さい

1. 時間次第で参加できます
2. 参加できそうにない

●介護や救護、保育など**経験や資格を活かした支援活動に協力いただける方**は居られませんか？
何れかに○を付けて下さい

1. 時間次第で協力できます
2. 該当者は居ません

B：災害時連絡票の提出

●災害時連絡票封筒には、「災害時連絡票」と「困りごと連絡票」が１枚ずつ入っています

●避難生活が始まった段階で、必要事項を記入した災害時連絡票を、回収箱(鍵付き)に入れて下さい

●回収箱は各棟１階及び、団地集会所に置きます

C：困りごと連絡票による相談

●避難生活が始まり、生活必需品が入手できない、家具が動かせないなど、困りごとが起きた時には、困りごと連絡票に記入して回収箱（鍵付き）に入れて下さい

●武蔵中避難所を通じて、熊本市に支援物資の提供やボランティアの派遣なども依頼できます

●困りごと連絡票は、回収箱の横や団地集会所にも置くようにします。必要な時に受け取って、提出して下さい

避難生活の「困りごと連絡票」

水・食料・ミルク・紙オムツ・薬・生理用品などの、**生活必需品が足りない**、**室内の復旧に助けが居ない**など、**お困りのこと**がありましたら、
この連絡票でご相談下さい（提出は各棟１階や団地集会所の回収箱）
町内で対応できない場合は、武蔵中の避難所を通じて、熊本市に物資提供やボランティア派遣なども依頼できます

3棟・R武蔵 _____**号**　**記入日**____月____日
何れかに丸　住戸番号

代表者名 _____.　**電話番号** ____-____-____.

要望事項（内容により必要数や提供の希望期限も記載してください）

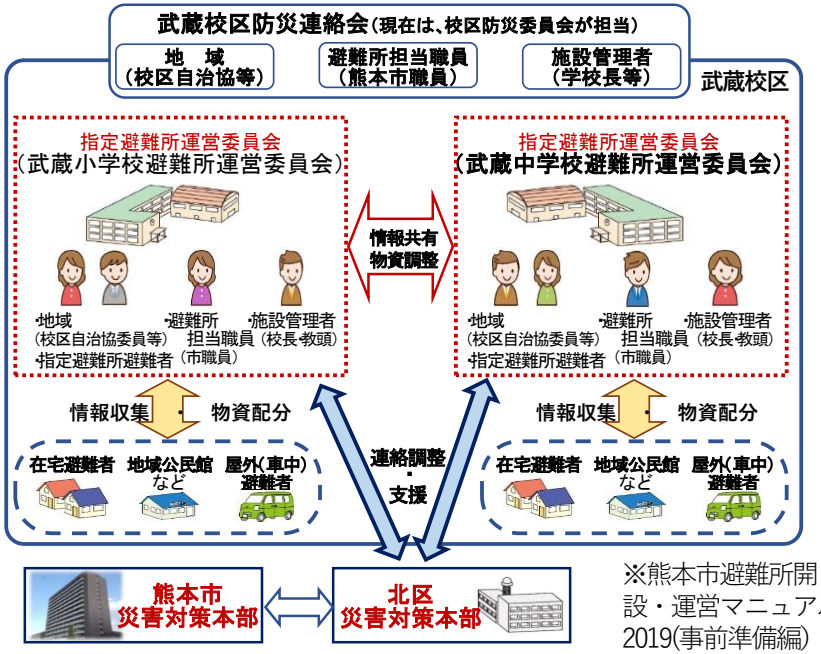
① _____.
② _____.
③ _____.

注：対応が難しい場合を含め、見通しを電話します。また、独自に解決できた場合は、回収箱にメモ書きを入れるなど、速やかにご連絡ください。

●地域における指定避難所の役割

台風時：予防的避難場所の提供
災害時：被災者の避難生活の場と必要な物資やサービスの提供
：自宅や車中など校区内で避難生活して居られる方々の 支援ニーズを踏まえた物資やサービスの提供
（町内自治会などとの中継役）

武蔵中避難所運営委員会と町内避難者や北区災害対策本部との関係



※熊本市避難所開設・運営マニュアル2019(事前準備編) 10頁の図版を基に作成

折り畳んで持ち運びできるように軽い材料で作成

パーティなどの招待カード用封筒と本に張り付けて使う図書カード収納ポケットを使用

火災避難訓練の際の安否確認風景

町内一斉清掃の際の参加者確認風景

防災アンケートの回答から見えたこと

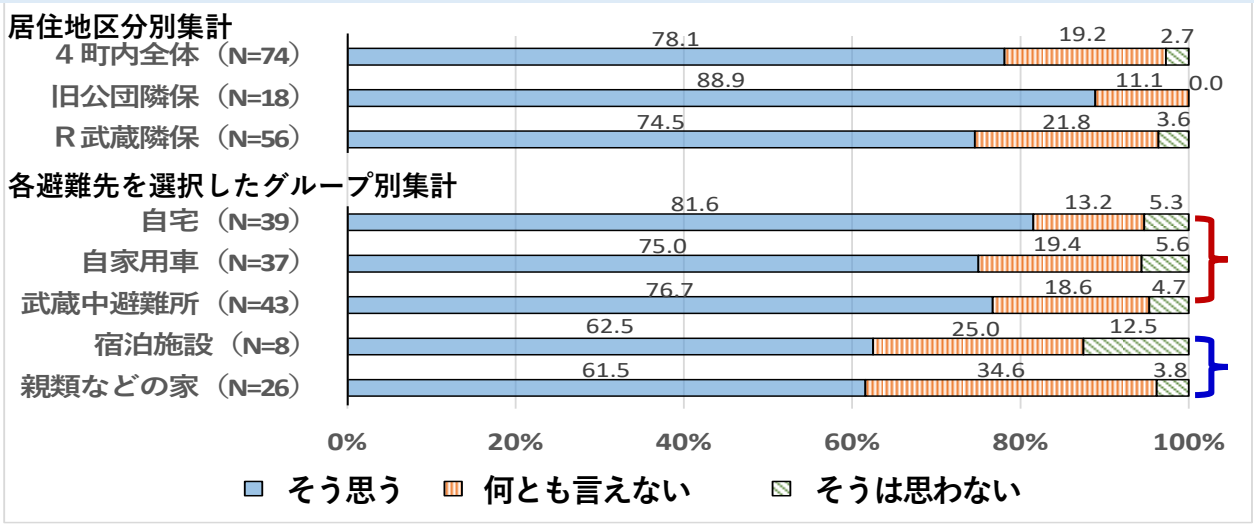
●多くの方から回答があり、防災に対する関心の高さを痛感した

- ４町内全体の回答率は69％（107戸に配布　うちR武蔵は67戸）
- 特にＲ武蔵隣保は８割を超え（2021アンケートでは７割）

●物資配給や炊き出しなどへの協力意思表明も多数いただいた

- 状況次第で協力する：旧公団隣保４割　R武蔵隣保　７割５分

●町内自治会として「地震に対する備え」を考えておくことに賛同が得られた

- 「必要と思う」町内全体で78%、旧公団隣保では89%に
- 町内での避難を想定している人々の方が賛同する割合が高かった

問５：皆さんにも参加していただきながら、町内自治会として
「地震に対する備え」について考えておくことは、必要だとを思いますか？